

令和3年第11回 定例会 蓮田市教育委員会会議録

招集年月日	令和 3年11月24日	開会場所	蓮田市役所201会議室			
開会の日時 及び宣告者	令和 3年11月24日 午前9時30分 教育長 西山通夫					
教育長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招集状況 及び出席状況	席次	氏名	備考	席次	氏名	備考
	1	西山通夫	出席	4	塚本聖子	出席
	2	飯野和之	出席	5	渡邊陽子	出席
	3	増田孝	出席	書記	加藤弘之	
議事参与者	<p>学校教育部長 増田勝弘</p> <p>生涯学習部長 新井宏典</p> <p>生涯学習部次長兼保育課長 田中和之</p> <p>生涯学習部次長兼社会教育課長 兼文化財展示館長兼中央公民館長 小宮雪晴</p> <p>教育総務課長 鈴木聖雄</p> <p>学校教育課長 高月章浩</p> <p>子ども支援課主幹 矢島千恵子</p> <p>文化スポーツ課長 兼総合市民体育館長兼総合文化会館長 小野寺潤</p> <p>図書館長 下之園友子</p>					
傍聴者	なし					

## 会議の進行状況・顛末

開 議 令和 3年11月24日 午前9時30分

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長の命により塚本委員、渡邊委員 前回会議録（第10回定例会）に署名する。

### 教育長の報告

西山教育長から、以下の報告がなされた。

1. 長欠児童・生徒数について
2. 12月蓮田市議会定例会について
3. 「蓮田市教育の日」研究委嘱発表について
4. F o r m s 活用による健康観察の実施状況について
5. 放射線量の測定値について
6. その他

### 報告事項についての質疑

**飯野委員** 保育園等から小学校へ上がると、それまでと環境が大きく異なってきますので、最初ついていくのが難しい子もいると思います。いわゆる「小1ギャップ」ですが、どのような対応をとっているのかお伺いします。

**西山教育長** 小学校と市内の幼稚園・保育園とは、打ち合わせの機会をつくり情報交換を行い、入学後の指導に活かしています。また、随時各学校から市の子ども支援課等に連絡をとっています。

入学後も先生方は留意して指導しています。小学校の1年生では、4月生まれの子と翌年3月生まれの子との差は非常に大きいのですが、先生方はよく分かっている工夫しながら指導しています。教室背面の黒板に誕生日順に児童の名前を掲示し、常に意識するよう心掛けている学校もあります。

**増田部長** 学校によっては、県費による「小1問題対応講師」の加配があります。基本的な生活習慣等を身につけさせる目的で4月から9月までの半年間の配置となります。

**西山教育長** その他、市費により30人学級講師と生活支援員等を配置していますので、1年生の学級には複数の先生がいることが多く、昔よりかなり手厚くなっています。

**増田委員** 文科省の「問題行動・不登校調査」によると、2020年度は、不登校が理由で小中学校を30日以上休んだ児童生徒は19万人以上で、前年度から8.2%増えていました。蓮田市の令和3年度10月不登校児童生徒調査では、前年度と比較して同程度となっています。これは、各学校で不登校児童生徒へのきめ細かな対応がなされている結果だというお話でした。

特に、タブレットの活用による健康観察、連絡、交流、学習支援等が行われていますが、不登校児童生徒に大きな負担をかけることなく学校生活に参加できることやコミュニケーションが取れるなど、好ましい傾向にあると思います。

今後は、担任との面談やスクールカウンセラーとの相談等でも利用し、家庭や学校双方ともに負担の軽減が図れるようなタブレットの活用を各学校に検討していただければと思います。

**西山教育長** 学校での運用を見ていると、タブレットで御家庭との連絡を取っているケースも多いです。また、タブレットを持ち帰り、家庭訪問にきた教員から使い方を教わり使っている児童生徒もいます。タブレットの利用は、不登校の児童生徒にとっては学習やコミュニケーションの面で有意義だと思います。

**増田委員** 文科省の「問題行動・不登校調査」によると、2020年度のいじめ認知件数は51万7,163件で、前年度より15%減少し、減少は7年ぶりということでしたが、蓮田市の認知件数を教えてください。

**高月課長** 10月末時点で確認した件数ですが、小学校については18件、中学校については3件です。うち、いじめが止んでから3か月以内であり経過観察期間にあるケースは、小学校は18件中2件、中学校は1件でございます。全体で21件となります。件数は昨年度に比べて増えております。理由は積極的認知が増えたためと捉えております。

**増田委員** SNSによる誹謗中傷等のいじめは今後増える傾向にあると考えられます。未然に防ぐためには、啓発活動や関係機関との連携が考えられますがいかがでしょうか。

**西山教育長** 携帯スマホ連絡会では、各学校の代表の先生と保護者の方が集まって協議し、その成果を各学校に持ち帰って周知する活動をしています。各学校でも携帯・スマホの正しい使い方について勉強する機会を設けています。ただ、SNSによる誹謗中傷等は、表面に出てこないものもかなりあります。そこに学校での対応の難しさを感じています。

**増田委員** SNS上の誹謗中傷等のいじめについては、学校も対応がかなり難しいのだと思います。法務局等の人権相談でも、なかなか学校で対応してもらえないという相談が多いようです。いじめ問題対策連絡協議会でも警察との情報交換を行っていますが、学校での啓発活動と並行して、警察や法務局といった関係機関との連携体制の構築も必要だと思います。学校と家庭との役割を整理しておくことも必要だと思います。

**飯野委員** 私もかなり前にPTAをやっていたことがあります。以前は家庭教育が担っていた機能が学校教育に入ってきている状況を目の当たりにし、先生方は大変だと思っていました。核家族化、共働き、そして新型コロナウイルスの感染がある中で、学校の比重が大きくなってきています。コミュニティスクールの運営が始まりますが、学校を支えていくことも必要でしょう。

**増田委員** 地域で子どもたちの教育ができるような交流が必要だと思います。核家族化により保護者が孤立している部分があります。小学校に上がってからいきなり家庭教育学級で何とかしましょうとか、保護者会で話し合おうといっても難しいでしょう。できれば小学校に上がる前から、保護者が相談できるような体質が地域でつくれると良いと思います。

**西山教育長** 現在、母子愛育会が活動されていますが、その良い活動の例だと思います。かつて「向こう三軒両隣」と言われたような地域のつながりは難しくなっています。そうしたなかで、地域の力を引き出すことも視野に入れながら、行政としてやるべきことをやっていきたいと思っています。

**鈴木課長** 議事に入る前にお諮りいたします。議案第12号及び議案第13号は、議会への報告事項案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開で行いたいと思いますが、いかがでしょうか

全委員承認

議 事

(以下、非公開審議)

西山教育長、議案第12号「教育委員会所管に係る令和3年度蓮田市一般会計補正予算(第6号)について」を提案する。

鈴木課長、朗読及び提案理由の趣旨説明を行う。

各所管課長等から詳細説明がなされた。

採決の結果、委員総員の賛成で議案第12号を原案のとおり可決した。

西山教育長、議案第13号「令和3年度教育行政の執行状況に関する点検評価報告書について」を提案する。

鈴木課長、朗読及び提案理由の趣旨説明を行う。

採決の結果、委員総員の賛成で議案第12号を原案のとおり可決した。

「教育委員会所管に係る令和3年度蓮田市一般会計補正予算（第7号）について」について、事務局から説明がなされた。

西山教育長の閉会宣言で第11回定例会は閉会となった。

閉議 午前11時14分